



# タマゴのおいしさ・峯木ラボ

(第36回)

新年度のはじまりの4月です。入学式と言えば桜ですが、去年は卒業式に咲き始めました。今年の桜は入学式に間に合いそうです。私たちの執筆した「おいしいたまごのはなし」の本は、4月10日に建帛社より発刊されます。

イースター(復活祭)は、4月とって思っていたら、グレゴリア暦に則ると、今年は3月31日です。

## 1. イースター

イースター(復活祭)は、十字架にかけられて亡くなったイエス・キリストが、3日後に復活したことを祝うお祭りで、キリスト教においては重要なイベントです。イースターは日にちが定まっているものではなく、「春分の日後の、最初の満月の次の日曜日」と決められています。「イースターで登場するうさぎはイースターバニー、たまごはイースターエッグと呼ばれます。うさぎは一度にたくさんの子どもを産み、さらに1年に何度も妊娠と出産を繰り返すことができる動物であることから、子孫繁栄の象徴とされています。

タマゴも希望、生命などの意味から使用されているそうです。ウィキペディアなどでネット検索すると、伝統的に四旬節および大斎の期間中禁じられていた肉、乳製品、卵(東方教会では魚肉も)がイースターで初めて解禁になるため、復活祭の正餐の食卓にはこれらの動物性食品が並ぶ、また、卵、バター、乳などをふんだんに使った復活祭独特の菓子パンやケーキが作られる、家禽を飼っている家庭では、四旬節および大斎の期間中に生まれたために食べられずにたまっていたタマゴをまとめて消費するという理由もある、などの歴史的背景などが紹介されています。

## 2. イースターのお菓子

2月中旬にオーストラリアを訪問しました。スーパーには、うさぎと卵のチョコレートがびっくりする



写真 うさぎとタマゴのチョコレート



ほど多く展示しており、イースターを迎える喜びが感じとれました。イースターの休暇は4日間もあるそうです。左のパンは、イースター用のパンです。ドイツのオスターブロット(復活祭のパン)に当たるものです。よく売れていました。右は本研究所でお土産を試食したお菓子一覧です。

### 3. イースターエッグとデビルエッグ

元来染めたり塗ったりした卵(ゆで卵)を使いますが、現代では卵アレルギーの懸念などから、チョコレートで作られた卵や、ジェリービーンズなどのキャンディを詰めたタマゴ型プラスチックで代用するようになってきたそうです。ですから、写真で紹介したチョコレートやキャンディは、包装紙にイースターエッグと書かれています。

イースターの時に食べる料理に、『デビルドエッグ』があります。既に YouTube の動画で紹介しています(<https://www.youtube.com/watch?v=Kkwlg41fe6Q>)。別名、スタッフドエッグで、ゆで卵の卵黄を取り出し、卵黄を潰してマヨネーズや刻んだピクルスを混ぜて、卵黄部分に詰め直します。アメリカでは有名なパーティーフードでお洒落な前菜です。名前に悪魔が付くのは、昔は胡椒が効いた辛い料理を悪魔と呼ぶからで、胡椒の他、パプリカなどを添えてもよいです。ワサビ・からし・燻煙マヨネーズ、ピクルスの代わりに花ラッキョウの使用もおいしいです。ここでは、卵白や卵黄にフルーツ色をつけるレシピも紹介しています。ピンクは、いちご、紫はブルーベリー、黄色はマンゴーやくちなしでつけました。卵黄が白いタマゴですと、色が美しく仕上がります。

黄色デビルエッグ	分量
茹で卵黄	1個分
マンゴ(冷凍)	13g
クリームチーズ	10g
からしマヨネーズ	6.2g

赤いデビルエッグ	分量
茹で卵黄	1個分
冷凍イチゴ	10g
ヨーグルト	5g
クリームチーズ	10g

水色デビルエッグ	分量
茹で卵黄	1個分
ブルーベリー	2g
ヨーグルト	10g
クリームチーズ	5g

### 4. オーストラリアのタマゴ販売

オーストラリアのスーパーでのタマゴの販売状況を見ました。パッケージには鶏のイラストが描かれており、可愛らしくきれいです。いずれも Free Range、Open Range, Cage free(放し飼い)と書かれています。12個入りが多いようです。重量で600g、700gと書かれているのもありました。



オーストラリアのスーパーから

タマゴサンドウィッチをいただきました。食べるとおいしいのですが、マヨネーズもタマゴも白っぽいので、一見タマゴサンドにみえませんでした。

### 5. アメリカのタマゴ販売

アメリカからも、スーパータマゴ販売の様子と、イースターエッグの様子を、知人より送られてきました。タマゴは60個入り、18個入り、12個入りの容器が多いようで、タマゴの入っている容器は、紙製やプラスチック製です。



アメリカのスーパーから



イースターバニーとイースターエッグ

## 6. メキシコのタマゴ販売



メキシコは、世界第1位のたまご消費国です。こちらも今年メキシコに行かれた方から、写真をいただきました。洗卵してあるとは思いますが、むき出しで売られています。あるいはプラ容器に入っています。価格はkgあたりで書いてあったり、30個入りのパックがあり、タマゴを沢山食べていることが伺えます。

メキシコのスーパーから

## 7. インドのタマゴ販売

インドからの情報です。

インドでは、ベジタリアンが人口の半分を超えており、卵を食べない人がかなりの数いるので、スーパーでも目立たない売り方をされてるそうです。日本のように安く大量に売っているお店は見られませんか。6個入りタマゴの価格は、89ルピー=160円くらいで、日本と同じかやや高めです。



インドのスーパーから

このように、国別価格を見ますと、オーストラリア

1個40-50円、アメリカは50-60円、インド30円、メキシコ30円位です。

日本のタマゴは、少し値上がりしましたが、それでもまだ安いです。安くておいしいタマゴ、ありがたいいただきましょう。

次回は、兵庫県明石市に“明石焼き”(明石の玉子焼き)を訪ねました。

それを紹介したいと思います。

タマゴのおいしさ研究所 峯木 眞知子

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 東京家政大学板橋キャンパス

電話番号:03-3961-7046 E-mail:tamago-labo@tokyo-kasei.ac.jp